

北朝鮮に対する国連安保理決議の完全履行を強く求める

事務局長談話 2016年10月27日

核兵器廃絶・平和建設国民会議

(略称: KAKKIN)

北朝鮮は、これまでの国連決議や関係・周辺国による自制要請を全く無視し、本年1月6日に4回目となる核実験を水爆実験と称して実施した。その後も弾道ミサイルの発射を繰り返し行い、さらに、9月9日には5回目となる核実験をこれまでの最大規模で実施した。

昨年12月の事実上の弾道ミサイル発射を受けて、本年1月23日、国連安保理は、北朝鮮に対し、すべての核兵器・核計画放棄を求め、更なる弾道ミサイルや核実験には安保理が重要な行動をとる決意を表明すること等を内容とする決議を採択した。

また、本年1月の核実験を受けて、国連安保理は3月8日に、この核実験を安保理決議違反と認定し非難するとともに、制裁の追加・強化を含む決議を採択した。

それにもかかわらず、北朝鮮が、さらに弾道ミサイルの発射と核実験を繰り返したことは、国際社会の声を無視して強行したものであり、国際的な核兵器不拡散体制に対する重大な違反である。唯一の被爆国のわが国として断じて容認できない暴挙である。

KAKKINは、この北朝鮮の核実験および弾道ミサイル発射に強く抗議するとともに、すべての核実験と弾道ミサイル発射の即時中止を強く求める。そして、国連安保理が毅然としてさらなる制裁強化を含む決議を行い、全ての国がその決議を完全に履行することを強く求める。

KAKKINは1961年の結成以降、「いかなる国のいかなる理由による核兵器も許さない」ことを旗印として運動を推進してきた。そして、広島・長崎での平和行動をはじめ、NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議開催時には現地に赴き、核兵器廃絶の必要性を強く訴えてきた。KAKKINは、北東アジア地域の非核化の実現、さらには「核兵器なき世界」の実現を目指し、全力で取り組みを進めていく。

以上